

# 1. 奈良市水道事業業務指標(PI)

## 1. 安心:すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

### a) 水資源の保全

(\*は不確定要素等を含むもの、-はデータがないものを表す) ないものを表す)

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1001	水源利用率	(一日平均配水量/確保している水源水量)×100	%	51.5	50.8	49.9	49.2	48.4	48.0
1002	水源余裕率	[(確保している水源水量/一日最大配水量)-1]×100	%	61.4	64.9	67.5	69.8	78.9	84.2
1003	原水有効利用率	(年間有効水量/年間取水量)×100	%	90.7	91.1	90.1	90.4	89.5	89.6
1004	自己保有水源率	(自己保有水源水量/全水源水量)×100	%	29.7	29.7	29.7	29.7	29.7	29.7
1005	取水量1m <sup>3</sup> 当たり 水源保全投資額	水源保全に投資した費用/その流域からの取水量	円/m <sup>3</sup>	0.07	0.08	0.07	0.07	0.07	0.08

### b) 水源から給水栓までの水質管理

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1101	原水水質監視度	原水水質監視項目数	項目	*167	*167	*167	*185	*185	*185
1102	水質検査箇所密度	(水質検査箇所数/給水区域面積)×100	箇所/100k㎡	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2
1103	連続自動水質監視度	(連続自動水質監視装置設置数/一日平均配水量)×1000	台/(1000m <sup>3</sup> /日)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1104	水質基準不適合率	(水質基準不適合回数/全検査回数)×100	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1105	カビ臭から見た おいしい水達成率	[(1-ジェオスミン最大濃度/水質基準値)+(1-2-メチルインボルネオール最大濃度/水質基準値)]/2×100	%	60	70	75	45	70	75
1106	塩素臭から見た おいしい水達成率	[1-(年間残留塩素最大濃度-残留塩素水質管理目標値)/残留塩素水質管理目標値]×100	%	0	0	0	0	0	0
1107	総トリハロメタン濃度水質 基準比	(総トリハロメタン最大濃度/総トリハロメタン濃度水質基準値)×100	%	50	46	41	49	46	42
1108	有機物(TOC)濃度水質 基準比	(有機物最大濃度/有機物水質基準値)×100	%	47	50	47	47	47	47
1109	農薬濃度水質管理目標比	$\frac{\sum (x_i/X_i)}{n} \times 100$ xiとは、各農薬の給水栓での年間測定最大濃度、Xiとは各農薬の管理目標値、nとは水道事業者の水質検査計画書に記載の農薬の数をいう。	%	0.098	0.088	0.098	0.033	0.033	0.025
1110	重金属濃度水質 基準比	$\frac{\sum (x_i/X_i)}{6} \times 100$ xiとは、各重金属の給水栓での年間測定最大濃度をいう。Xiとは、各重金属の水質基準値をいう。	%	3	5	7	7	8	5
1111	無機物質濃度水質基準比	$\frac{\sum (x_i/X_i)}{6} \times 100$ xiとは、各無機物質の給水栓での年間測定最大濃度をいう。Xiとは、各無機物質の水質基準値をいう。	%	10	10	9	10	10	14
1112	有機物質濃度水質基準比	$\frac{\sum (x_i/X_i)}{4} \times 100$ xiとは、各有機物質の給水栓での年間測定最大濃度をいう。Xiとは、各有機物質の水質基準値をいう。	%	10	5	2.5	3	3	13
1113	有機塩素化学物質濃度水質 基準比	$\frac{\sum (x_i/X_i)}{9} \times 100$ xiとは、各有機塩素化学物質の給水栓での年間測定最大濃度をいう。Xiとは、各有機塩素化学物質の水質基準値、又は管理目標値をいう。	%	0	0	0	0	0	0
1114	消毒副生成物濃度水質 基準比	$\frac{\sum (x_i/X_i)}{5} \times 100$ xiとは、各消毒副生成物の給水栓での年間測定最大濃度をいう。Xiとは、各消毒副生成物の管理目標値をいう。	%	19	22	19	25	21	35
1115	直結給水率	(直結給水件数/給水件数)×100	%	98.2	98.2	98.3	98.3	98.3	98.3
1116	活性炭投入率	(年間活性炭投入日数/年間日数)×100	%	39.7	36.1	36.2	35.6	29.6	44.0
1117	鉛製給水管率	(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	%	49.3	47.9	46.4	45.0	44.5	44.1

注1) 検査頻度が月1回より少ない項目を含む。H25から農薬測定数を18項目追加。

注2) H21～24は102項目、H25からは120項目について算出。

注3) 受水槽設置の建築物は、1件として計上。

## 2. 安定:いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

### a) 連続した水道水の供給

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
----	------	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量	$[(\text{配水池総容量}(\text{緊急貯水槽容量は除く}) \times 1/2 + \text{緊急貯水槽容量}) / \text{給水人口}] \times 1000$	L/人	211	211	212	212	213	214
2002	給水人口一人当たり配水量	$(\text{一日平均配水量} / \text{給水人口}) \times 1000$	L/日/人	357	353	349	344	339	338
2003	浄水予備力確保率	$[(\text{全浄水施設能力} - \text{一日最大浄水量}) / \text{全浄水施設能力}] \times 100$	%	*35.6	*39.9	*39.3	*35.0	*40.9	*39.8
2004	配水池貯留能力	配水池総容量 / 一日平均配水量	日	1.18	1.20	1.22	1.23	1.26	1.27
2005	給水制限数	年間給水制限日数	日	0	0	0	0	0	0
2006	普及率	$(\text{給水人口} / \text{給水区域内人口}) \times 100$	%	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8
2007	配水管延長密度	配水管延長 / 給水区域面積	km/k㎡	8.5	8.5	8.5	7.9	7.9	7.9
2008	水道メータ密度	水道メータ数 / 配水管延長	個/km	70	70	70	77	77	77

注1) H25から管路延長の算出根拠を水道施設管理システム(マッピングシステム)の数値に変更。

#### b) 将来への備え

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
2101	経年化浄水施設率	$(\text{法定耐用年数を超えた浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$	%	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	10.4
2102	経年化設備率	$(\text{経年化年数を超えている電気・機械設備数} / \text{電気・機械設備の総数}) \times 100$	%	32.6	32.6	33.7	38.6	40.5	38.1
2103	経年化管路率	$(\text{法定耐用年数を超えた管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%	*23.7	*25.7	*27.4	27.3	30.2	32.0
2104	管路の更新率	$(\text{更新された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%	*0.37	*0.32	*0.42	0.33	0.17	0.17
2105	管路の更生率	$(\text{更生された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
2106	バルブの更新率	$(\text{更新されたバルブ数} / \text{バルブ設置数}) \times 100$	%	*1.40	*1.09	*1.46	0.19	0.04	0.12
2107	管路の新設率	$(\text{新設管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%	*0.48	*0.27	*0.42	0.46	0.22	0.11

注1) H25から管路延長の算出根拠を水道施設管理システム(マッピングシステム)の数値に変更。

#### c) リスクの管理

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
2201	水源の水質事故数	年間水源水質事故件数	件	0	1	1	0	0	1
2202	幹線管路の事故割合	$(\text{幹線管路の事故件数} / \text{幹線管路延長}) \times 100$	件/100km	0.0	1.9	1.9	1.9	1.0	0.5
2203	事故時配水量率	$(\text{事故時配水量} / \text{一日平均配水量}) \times 100$	%	77.3	78.4	79.7	80.9	82.3	83.0
2204	事故時給水人口率	$(\text{事故時給水人口} / \text{給水人口}) \times 100$	%	82.2	80.3	82.2	84.0	83.6	82.4
2205	給水拠点密度	$(\text{配水池} \cdot \text{緊急貯水槽数} / \text{給水区域面積}) \times 100$	箇所/100k㎡	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2
2206	系統間の原水融通率	$(\text{原水融通能力} / \text{受水側浄水能力}) \times 100$	%	8.0/0.0	8.0/0.0	8.0/0.0	8.0/0.0	8.0/0.0	8.0/0.0
2207	浄水施設耐震率	$(\text{耐震対策の施されている浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$	%	*80.3	*46.1	*46.1	*46.1	*46.1	*46.1
2208	ポンプ所耐震施設率	$(\text{耐震対策の施されているポンプ所能力} / \text{全ポンプ所能力}) \times 100$	%	70.8	71.2	71.2	71.2	71.2	71.2
2209	配水池耐震施設率	$(\text{耐震対策の施されている配水池容量} / \text{配水池総容量}) \times 100$	%	63.5	63.5	70.1	70.1	70.1	70.1
2210	管路の耐震化率	$(\text{耐震管延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	%	12.2	12.7	13.1	16.7	17.1	17.5
2211	薬品備蓄日数	平均薬品貯蔵量 / 一日平均使用量	日	*27.7	*23.4	*27.1	*26.8	*26.8	*19.5
2212	燃料備蓄日数	平均燃料貯蔵量 / 一日使用量	日	*0.9	*0.9	*0.9	*0.9	*0.8	*0.8

2213	給水車保有度	(給水車数/給水人口)×1000	台/1000人	0.0084	0.0084	0.0084	0.0084	0.0084	0.0085
2214	可搬ポリタンク・ポリバック保有度	(可搬ポリタンク・ポリバック数/給水人口)×1000	個/1000人	49.2	49.8	63.7	69.7	75.0	79.7
2215	車載用の給水タンク保有度	(車載用給水タンクの総容量/給水人口)×1000	m <sup>3</sup> /1000人	0.060	0.061	0.061	0.061	0.061	0.061
2216	自家発電設備容量率	(自家発電設備容量/当該設備の電力総容量)×100	%	*95.5	*95.3	*95.3	*95.3	*95.3	*95.3
2217	警報付施設率	(警報付施設数/全施設数)×100	%	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
2218	給水装置の凍結発生率	(給水装置の年間凍結件数/給水件数)×1000	件/1000件	0.014	0.602	0.007	0.007	0.007	0.662

注1) 融通は、木津浄水場→緑ヶ丘浄水場のみ。緑ヶ丘浄水場→木津浄水場は無い。

注2) H25から管路延長の算出根拠を水道施設管理システム(マッピングシステム)の数値に変更。

注3) 2浄水場の平均。

注4) 全施設の平均。

### 3. 持続:いつまでも安心できる水を安定して供給

#### a) 地域特性にあった運営基盤の強化

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
3001	営業収支比率	(営業収益/営業費用)×100	%	118.6	117.0	113.3	118.4	107.3	108.2
3002	経常収支比率	[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	%	107.6	107.1	101.2	111.9	117.9	120.2
3003	総収支比率	(総収益/総費用)×100	%	107.4	106.9	101.1	104.1	103.7	120.1
3004	累積欠損金比率	[累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3005	繰入金比率(収益的収入分)	(損益勘定繰入金/収益的収入)×100	%	3.2	2.7	2.1	1.7	1.2	1.1
3006	繰入金比率(資本的収入分)	(資本勘定繰入金/資本的収入)×100	%	53.6	55.9	69.0	53.9	45.0	22.2
3007	職員一人当たり給水収益	(給水収益/損益勘定所属職員数)/1000	千円/人	48,471	47,971	47,560	48,918	50,322	55,737
3008	給水収益に対する職員給与費の割合	(職員給与費/給水収益)×100	%	18.1	18.4	22.1	20.5	19.0	17.0
3009	給水収益に対する企業債利息の割合	(企業債利息/給水収益)×100	%	12.0	10.4	8.7	7.4	6.5	5.7
3010	給水収益に対する減価償却費の割合	(減価償却費/給水収益)×100	%	29.1	29.4	29.4	29.0	37.0	37.1
3011	給水収益に対する企業債償還金の割合	(企業債償還金/給水収益)×100	%	40.9	42.1	43.9	44.7	44.0	20.5
3012	給水収益に対する企業債残高の割合	(企業債残高/給水収益)×100	%	378.3	346.5	310.3	271.1	233.6	221.5
3013	料金回収率(給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合)	(供給単価/給水原価)×100	%	100.2	100.2	95.2	109.0	119.0	121.6
3014	供給単価	給水収益/有収水量	円/m <sup>3</sup>	182.0	181.7	181.6	181.9	181.9	182.3
3015	給水原価	[経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)]/有収水量	円/m <sup>3</sup>	181.6	181.3	190.8	166.9	152.9	149.8
3016	1箇月当たり家庭用料金(10m <sup>3</sup> )	1か月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+10m <sup>3</sup> 使用時の従量料金	円	930	930	930	930	930	930
3017	1箇月当たり家庭用料金(20m <sup>3</sup> )	1か月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+20m <sup>3</sup> 使用時の従量料金	円	2,480	2,480	2,480	2,480	2,480	2,480
3018	有収率	(有収水量/給水量)×100	%	90.5	90.1	90.0	90.8	90.0	89.5
3019	施設利用率	(一日平均給水量/一日給水能力)×100	%	56.2	55.8	55.2	54.7	54.6	54.9
3020	施設最大稼働率	(一日最大給水量/一日給水能力)×100	%	67.7	66.6	65.9	65.5	63.1	62.1
3021	負荷率	(一日平均給水量/一日最大給水量)×100	%	83.1	83.7	83.6	83.5	86.5	88.3
3022	流動比率	(流動資産/流動負債)×100	%	503.6	445.7	378.2	504.1	153.0	182.9
3023	自己資本構成比率	[(自己資本金+剰余金)/負債+資本合計]×100	%	69.9	72.4	75.2	77.8	39.3	41.1

3024	固定比率	$[\text{固定資産} / (\text{自己資本金} + \text{剰余金})] \times 100$	%	137.9	132.7	128.6	124.3	242.8	231.7
3025	企業債償還元金対減価償却費比率	$(\text{企業債償還元金} / \text{当年度減価償却費}) \times 100$	%	140.4	143.1	149.1	154.4	119.0	55.3
3026	固定資産回転率	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$	回	0.08	0.08	0.08	0.08	0.10	0.10
3027	固定資産使用効率	$(\text{給水量} / \text{有形固定資産}) \times 10000$	m <sup>3</sup> /10000円	7.1	7.1	7.1	7.0	8.8	8.6

注1) 布目ダム・比奈知ダムの建設に係る費用を含む。

注2) H24から職員給与費に退職給与金を含む。

注1)

#### b) 水道文化・技術の継承と発展

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
3101	職員資格取得度	職員が取得している法定資格数/全職員数	件/人	0.68	0.76	0.80	0.86	0.88	1.22
3102	民間資格取得度	職員が取得している民間資格数/全職員数	件/人	0.0053	0.0053	0.0054	0.0056	0.0059	0.0064
3103	外部研修時間	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \times \text{人数}) / \text{全職員数}$	時間	14.0	12.6	15.5	15.8	11.9	14.9
3104	内部研修時間	$(\text{職員が内部研修を受けた時間} \times \text{人数}) / \text{全職員数}$	時間	3.3	1.7	2.1	7.7	2.8	5.1
3105	技術職員率	$(\text{技術職員総数} / \text{全職員数}) \times 100$	%	59.5	59.8	60.5	60.0	62.1	64.1
3106	水道業務経験年数度	全職員の水道業務経験年数/全職員数	年/人	17.2	16.6	16.6	15.7	15.6	16.4
3107	技術開発職員率	$(\text{技術開発業務従事職員数} / \text{全職員数}) \times 100$	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3108	技術開発費率	$(\text{技術開発費} / \text{給水収益}) \times 100$	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3109	職員一人当たり配水量	年間配水量/全職員数	m <sup>3</sup> /人	246,000	245,000	245,000	249,000	260,000	280,000
3110	職員一人当たりメータ数	水道メータ総数/全職員数	個/人	664	671	689	713	759	827
3111	公傷率	$[(\text{公傷で休務した延べ人} \cdot \text{日数}) / (\text{全職員数} \times \text{年間公務日数})] \times 100$	%	0.000	0.000	0.000	0.103	0.000	0.000
3112	直接飲用率	$(\text{直接飲用回答数} / \text{直接飲用アンケート回答数}) \times 100$	%	91.7	94.5	90.9	88.3	85.9	85.9

#### c) 消費者ニーズをふまえた給水サービスの充実

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
3201	水道事業に係る情報の提供度	広報誌配布部数/給水件数	部/件	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
3202	モニタ割合	$(\text{モニタ人数} / \text{給水人口}) \times 1000$	人/1000人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3203	アンケート情報収集割合	$(\text{アンケート回答人数} / \text{給水人口}) \times 1000$	人/1000人	0.40	0.38	0.52	0.41	0.47	0.53
3204	水道施設見学者割合	$(\text{見学者数} / \text{給水人口}) \times 1000$	人/1000人	9.1	9.1	9.1	8.0	7.4	7.6
3205	水道サービスに対する苦情割合	$(\text{水道サービス苦情件数} / \text{給水件数}) \times 1000$	件/1000件	2.17	2.49	1.98	1.86	1.85	1.49
3206	水質に対する苦情割合	$(\text{水質苦情件数} / \text{給水件数}) \times 1000$	件/1000件	0.63	0.75	0.56	0.29	0.31	0.42
3207	水道料金に対する苦情割合	$(\text{水道料金苦情件数} / \text{給水件数}) \times 1000$	件/1000件	0.014	0.000	0.000	0.007	0.000	0.000
3208	監査請求数	年間監査請求件数	件	0	0	0	0	0	0
3209	情報開示請求数	年間情報開示請求件数	件	2	5	0	2	2	2
3210	職員一人当たり受付件数	受付件数/全職員数	件/人	179	177	181	210	231	243

#### 4. 環境: 環境保全への貢献

##### a) 地球温暖化防止、環境保全などの推進

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
----	------	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

4001	配水量1m <sup>3</sup> 当たり 電力消費量	全施設の電力使用量/年間配水量	kWh/m <sup>3</sup>	0.22	0.23	0.23	0.22	0.22	0.21
4002	配水量1m <sup>3</sup> 当たり 消費エネルギー	全施設での総エネルギー消費量/年間配水量	MJ/m <sup>3</sup>	0.81	0.84	0.82	0.79	0.81	0.75
4003	再生可能エネルギー利用 率	(再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設 の電力使用量)×100	%	0.00	0.07	0.42	0.45	0.44	0.46
4004	浄水発生土の有効利用率	(有効利用土量/浄水発生土量)×100	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
4005	建設副産物のリサイクル率	(リサイクルされた建設副産物量/建設副産物排出 量)×100	%	26.1	31.2	49.5	37.2	31.0	34.3
4006	配水量1m <sup>3</sup> 当たり 二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量	(二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量/年間配水量)× 10 <sup>6</sup>	g・CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	66	69	102	112	117	111

b)健全な水循環

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
4101	地下水率	(地下水揚水量/水源利用水量)×100	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5. 管理:水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理

a)適正な実行・業務運営

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
5001	給水圧不適正率	[適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数/(圧 力測定箇所総数×年間日数)]×100	%	*11.83	*10.44	*11.95	*11.76	*11.41	*11.74
5002	配水池清掃実施率	[最近5年間に清掃した配水池容量/(配水池総容 量/5)]×100	%	98	98	107	82	65	42
5003	年間ポンプ平均 稼働率	[ポンプ運転時間の総計/(ポンプ総台数×年間 日数×24)]×100	%	21.2	22.3	20.5	19.4	19.4	19.2
5004	検針誤り割合	(誤検針件数/検針総件数)×1000	件/1000件	0.01	0.11	0.02	0.01	0.01	0.02
5005	料金請求誤り割合	(誤料金請求件数/料金請求総件数)×1000	件/1000件	0.06	0.09	0.08	0.05	0.11	0.07
5006	料金未納率	(年度末未納料金総額/総料金収入額)×100	%	8.1	8.2	8.4	8.5	8.6	8.8
5007	給水停止割合	(給水停止件数/給水件数)×1000	件/1000件	5.2	4.6	4.3	4.2	2.3	1.7
5008	検針委託率	(委託した水道メータ数/水道メータ総数)×100	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5009	浄水場第三者委託率	(第三者委託した浄水場能力/全浄水場能力)× 100	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注1) 水圧連続監視装置が未整備のため、市内を分割し夏季に測定したデータを基に表す。(経年比較不可)

注2) 検針時障害による認定を含む。

注3) 漏水に伴う減額分を含む。

注4) 年度最終分の調定額は、全額請求前であるため未納となっている。この指標は未納金ではなく未収金を表している。

b)適正な維持管理

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
5101	浄水場事故割合	10年間の浄水場停止事故件数/浄水場総数	10年間の件数 /箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5102	ダクタイル鑄鉄管・鋼管率	[(ダクタイル鑄鉄管延長+鋼管延長)/管路総延 長]×100	%	56.2	56.2	56.3	63.6	64.0	64.0
5103	管路の事故割合	(管路の事故件数/管路総延長)×100	件/100km	12.9	12.0	11.3	11.2	9.0	7.4
5104	鉄製管路の事故割合	(鉄製管路の事故件数/鉄製管路総延長)×100	件/100km	8.3	7.3	7.0	5.9	5.8	2.9
5105	非鉄製管路の事故割合	(非鉄製管路の事故件数/非鉄製管路総延長)× 100	件/100km	21.4	21.3	18.8	22.7	16.0	17.5
5106	給水管の事故割合	(給水管の事故件数/給水件数)×1000	件/1000件	9.4	9.4	9.7	8.8	7.6	7.8
5107	漏水率	(年間漏水量/年間配水量)×100	%	4.8	5.1	5.4	4.3	5.3	5.7
5108	給水件数当たり 漏水量	年間漏水量/給水件数	m <sup>3</sup> /年/件	16.3	16.8	17.4	13.6	16.3	17.5
5109	断水・濁水時間	(断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口)/給 水人口	時間	0.01	0.01	0.01	0.01	0.04	0.05

5110	設備点検実施率	(電気・計装・機械設備等の点検回数／電気・計装・機械設備の法定点検回数)×100	%	1,675	1,675	472	472	472	489
5111	管路点検率	(点検した管路延長／管路総延長)×100	%	65	75	68	68	68	78
5112	バルブ設置密度	バルブ設置数／管路総延長	基/km	21.7	21.9	21.6	23.0	23.2	23.3
5113	消火栓点検率	(点検した消火栓数／消火栓数)×100	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5114	消火栓設置密度	消火栓数／配水管延長	基/km	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0
5115	貯水槽水道指導率	(貯水槽水道指導件数／貯水槽水道総数)×100	%	10.8	0.7	0.1	2.2	2.2	0.3

6. 国際: 我が国の経験の海外移転による国際貢献

a) 技術の移転

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
6001	国際技術等協力度	人的技術等協力者数×潜在遇数	人・週	0	0	0	0	0	0

b) 国際機関、諸国との交流

番号	業務指標	算出式	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27
6101	国際交流数	年間人的交流件数	件	1	0	0	0	1	1